

**This Page Is Inserted by IFW Operations
and is not a part of the Official Record**

BEST AVAILABLE IMAGES

Defective images within this document are accurate representations of the original documents submitted by the applicant.

Defects in the images may include (but are not limited to):

- **BLACK BORDERS**
- **TEXT CUT OFF AT TOP, BOTTOM OR SIDES**
- **FADED TEXT**
- **ILLEGIBLE TEXT**
- **SKEWED/SLANTED IMAGES**
- **COLORED PHOTOS**
- **BLACK OR VERY BLACK AND WHITE DARK PHOTOS**
- **GRAY SCALE DOCUMENTS**

IMAGES ARE BEST AVAILABLE COPY.

**As rescanning documents *will not* correct images,
please do not report the images to the
Image Problem Mailbox.**

#5

COPY OF PAPERS
ORIGINALLY FILED

日 本 国 特 許 庁
JAPAN PATENT OFFICE



別紙添付の書類に記載されている事項は下記の出願書類に記載されている事項と同一であることを証明する。

This is to certify that the annexed is a true copy of the following application as filed with this Office

出 願 年 月 日

Date of Application:

2001年 6月 4日

出 願 番 号

Application Number:

特願2001-168531

出 願 人

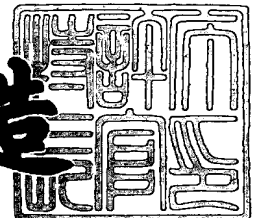
Applicant(s):

藤倉 和実

2001年10月19日

特 許 庁 長 官
Commissioner,
Japan Patent Office

及 川 耕 造



出証番号 出証特2001-3092950

【書類名】 特許願

【整理番号】 IS1-001

【提出日】 平成13年 6月 4日

【あて先】 特許庁長官 殿

【国際特許分類】 A63F 7/02

【発明者】

 【住所又は居所】 東京都豊島区南池袋3丁目13番7号

 【氏名】 藤倉 和実

【特許出願人】

 【住所又は居所】 東京都豊島区南池袋3丁目13番7号

 【氏名又は名称】 藤倉 和実

【代理人】

 【識別番号】 100106002

 【弁理士】

 【氏名又は名称】 正林 真之

【選任した代理人】

 【識別番号】 100115303

 【弁理士】

 【氏名又は名称】 岩永 和久

【選任した代理人】

 【識別番号】 100116872

 【弁理士】

 【氏名又は名称】 藤田 和子

【手数料の表示】

 【予納台帳番号】 058975

 【納付金額】 21,000円

【提出物件の目録】

 【物件名】 明細書 1

 【物件名】 要約書 1

特 2 0 0 1 - 1 6 8 5 3 1

【物件名】	図面	1
【ブルーフの要否】	要	

【書類名】 明細書

【発明の名称】 入力制御方法及び当該入力制御方法が実行可能なプログラムを記憶した記憶媒体並びにサーバ

【特許請求の範囲】

【請求項 1】 複数の端末に接続され、当該複数の端末との間で送受信を行うサーバであって、

単一のマターを表示する単一項目表示が複数個集合したものからなる複数項目表示を貼付ける貼付け領域と、

この貼付け領域に貼付けられた複数項目表示に対して、当該複数項目表示に含まれている各単一項目表示に対応する単一のマターを選択して確定表示させ得る単一マター表示窓と、

を前記端末の表示画面に表示させることを特徴とするサーバ。

【請求項 2】 前記複数項目表示は、複数個の単一項目表示が直列しているものであることを特徴とする請求項 1 記載のサーバ。

【請求項 3】 複数の入力項目を有する W E B ページに対して、W E B 端末からの操作によって、テキスト形式等の所定の形式で予め用意された前記複数の入力項目に係る入力項目情報をペースト操作により一括入力することが可能な入力制御方法であって、

前記一括入力に際して、前記複数の入力項目ごとの仕切り記号の入力を促し、当該入力された仕切り記号を識別することによって、前記一括入力された前記複数の入力項目を各単位入力項目ごとに分離認識可能とすることを特徴とする入力制御方法。

【請求項 4】 W E B 端末側においてテキスト形式等の所定の形式で入力すべき複数の入力項目を、順不同に連続して並べられた群からなる入力項目情報として予め用意し、前記 W E B 端末からの操作によって、当該 W E B 端末とインターネット通信網を通じて接続可能な W E B サーバの W E B ページに対して、前記複数の入力項目の群を前記 W E B 端末側からのペースト操作により列状に一括入力することが可能な入力制御方法であって、

前記複数の入力項目の群を列状に一括入力される入力領域の近傍には、前記列

状に一括入力されるべき並び方向と平行に、前記複数の入力項目の数に応じた複数の種別選択表示窓を各々配置してなり、当該種別選択表示窓に対し前記列状に一括入力された前記複数の入力項目の入力種別の入力を促すことを特徴とする入力制御方法。

【請求項 5】 製品発注のための複数の入力項目を W E B 端末を通じて W E B サーバの W E B ページに入力するにあたり、前記 W E B 端末側で予め用意された前記複数の入力項目からなる入力項目情報を利用してテキスト形式等の所定の形式で前記 W E B ページに前記 W E B 端末側からのペースト操作により一括入力することが可能な入力制御方法であって、

前記複数の入力項目は、品番、単価、数量、納期などの数字やアルファベット或いはカタカナなどの複数種類の入力項目情報が混在し、その入力項目も W E B 端末側でめいめい異なる順序で連続して並べられた群として形成されている可能性のあるものであり、

前記 W E B サーバは、前記一括入力に際して、前記複数の入力項目ごとの仕切り記号の入力を W E B 端末側に促し、

当該入力された仕切り記号を識別処理することによって、前記一括入力された前記複数の入力項目を各単位入力項目ごとに分離認識可能とする一方、

前記 W E B サーバは、前記一括入力に際して、前記複数の入力項目ごとの入力種別を前記複数能入力項目を列状に一括入力させる前記 W E B ページの入力領域の近傍に、前記複数の入力項目の数に応じた前記入力種別の選択入力用の種別選択表示窓を各々配置し、その種別選択表示窓に前記 W E B 端末を通じての選択入力を促し、

当該種別選択表示窓入力された入力種別に応じて他の W E B 端末からの W E B ページへの入力情報との整合性を取るための、統一した複数の入力項目の並びからなるフォーマットに変換処理することを特徴とする入力制御方法。

【請求項 6】 複数の入力項目を有する W E B ページに対して、W E B 端末からの操作によって、テキスト形式等の所定の形式で予め用意された前記複数の入力項目に係る入力項目情報をペースト操作により一括入力することが可能な入力制御方法が実行可能なプログラムを記憶した記憶媒体であって、

前記一括入力に際して、前記複数の入力項目ごとの仕切り記号の入力を促し、当該入力された仕切り記号を識別することによって、前記一括入力された前記複数の入力項目を各单位入力項目ごとに分離認識可能とすることを特徴とする入力制御方法が実行可能なプログラムを記憶した記憶媒体。

【請求項 7】 WEB 端末側においてテキスト形式等の所定の形式で入力すべき複数の入力項目を、順不動に連続してならべられた群からなる入力項目情報として予め用意し、前記 WEB 端末からの操作によって、当該 WEB 端末とインターネット通信網を通じて接続可能な WEB サーバの WEB ページに対して、前記複数の入力項目の群を前記 WEB 端末側からのペースト操作により列状に一括入力することが可能な入力制御方法が実行可能なプログラムを記憶した記憶媒体であって、

前記複数の入力項目の群を列状に一括入力される入力領域の近傍には、前記列状に一括入力されるべき並び方向と平行に、前記複数の入力項目の数に応じた複数の種別選択表示窓を各々配置してなり、当該種別選択表示窓に対し前記列状に一括入力された前記複数の入力項目の入力種別の入力を促すことを特徴とする入力制御方法が実行可能なプログラムを記憶した記憶媒体。

【請求項 8】 製品発注のための複数の入力項目を WEB 端末を通じて WEB サーバの WEB ページに入力するにあたり、前記 WEB 端末側で予め用意された前記複数の入力項目からなる入力項目情報を利用してテキスト形式等の所定の形式で前記 WEB ページに前記 WEB 端末側からのペースト操作により一括入力することが可能な入力制御方法が実行可能なプログラムを記憶した記憶媒体であって、

前記複数の入力項目は、品番、単価、数量、納期などの数字やアルファベット或いはカタカナなどの複数種類の入力項目情報が混在し、その入力項目も WEB 端末側でめいめい異なる順序で連続して並べられた群として形成されている可能性のあるものであり、

前記 WEB サーバは、前記一括入力に際して、前記複数の入力項目ごとの仕切り記号の入力を WEB 端末側に促し、

当該入力された仕切り記号を識別処理することによって、前記一括入力された

前記複数の入力項目を各単位入力項目ごとに分離認識可能とする一方、

前記WEBサーバは、前記一括入力に際して、前記複数の入力項目ごとの入力種別を前記複数能入力項目を列状に一括入力させる前記WEBページの入力領域の近傍に、前記複数の入力項目の数に応じた前記入力種別の選択入力用の種別選択表示窓を各々配置し、その種別選択表示窓に前記WEB端末を通じての選択入力を促し、

当該種別選択表示窓入力された入力種別に応じて他のWEB端末からのWEBページへの入力情報との整合性を取るための、統一した複数の入力項目のならばからなるフォーマットに変換処理することを特徴とする入力制御方法が実行可能なプログラムを記憶した記憶媒体。

【請求項 9】 インターネット等の通信回線を通じて他のWEB端末から電子情報の入力可能なWEBサーバであって、

前記WEB端末との接続及び認証を条件として、複数の入力項目を有するWEBページに対して、WEB端末からの操作によって、テキスト形式等の所定の形式で予め用意された前記複数の入力項目に係る入力項目情報をペースト操作により一括入力することを許容するとともに、

前記一括入力に際して、前記複数の入力項目ごとの仕切り記号の入力を促す一方、

当該入力された仕切り記号を識別することによって、前記一括入力された前記複数の入力項目を各単位入力項目ごとに分離認識処理を行なう制御手段を備えたことを特徴とするサーバ。

【請求項 10】 インターネット等の通信回線を通じて他のWEB端末から電子情報の入力可能なWEBサーバであって、

前記WEB端末との接続及び認証を条件として、当該WEB端末側において予め用意された、テキスト形式等の所定の形式で入力すべき複数の入力項目を順不同に連続して並べられた群からなる入力項目情報を、前記WEB端末からの操作によって、WEBサーバのWEBページに対してペースト操作により列状に一括入力することを許容するとともに、

前記複数の入力項目の群を列状に一括入力される入力領域の近傍には、前記列

状に一括入力されるべき並び方向と平行に、前記複数の入力項目の数に応じた複数の種別選択表示窓を各々配置した状態を前記WEB端末の表示部に表示せしめて、当該種別選択表示窓に対し前記列状に一括入力された前記複数の入力項目の入力種別の入力を促し、

且つ、前記種別選択表示窓に選択入力された入力種別と、当該種別選択表示窓に対応した入力項目とを関連付けて格納する処理を行なう制御手段を備えたサーバ。

【請求項 1 1】 インターネット等の通信回線を通じて他のWEB端末から電子情報の入力可能なWEBサーバであって、

前記WEB端末との接続及び認証を条件として、製品発注のための複数の入力項目を前記WEB端末を通じて前記WEBサーバのWEBページに入力するにあたり、前記WEB端末側で予め用意された前記複数の入力項目からなる入力項目情報を利用して前記WEBページに前記WEB端末側からのペースト操作により一括入力することを促し、

品番、単価、数量、納期などの数字やアルファベット或いはカタカナなどの複数種類の入力項目情報が混在した前記複数の入力項目は、その入力項目も前記WEB端末側でめいめい異なる順序で連続して並べられた群として形成されている可能性のあるものであり、

前記一括入力に際して、前記複数の入力項目ごとの仕切り記号の入力をWEB端末側に促して、

当該入力された仕切り記号を識別処理することによって、前記一括入力された前記複数の入力項目を各単位入力項目ごとに分離認識処理の制御を行ない、

且つ、前記一括入力に際して、前記複数の入力項目ごとの入力種別を前記複数能入力項目を列状に一括入力させる前記WEBページの入力領域の近傍に、前記複数の入力項目の数に応じた前記入力種別の選択入力用の種別選択表示窓を各々配置した画像を前記WEB端末に送信し、その種別選択表示窓に前記WEB端末を通じての選択入力を促し、

当該種別選択表示窓入力された入力種別に応じて他のWEB端末からのWEBページへの入力情報との整合性を取るための、統一した複数の入力項目のならば

からなるフォーマットに変換処理する制御を行なう制御手段を備えることを特徴とするサーバ。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】

この発明は、WEB 端末を通じてWEB サーバ上のWEB ページに対して入力を行なうことを簡便にする入力制御方法、及び当該入力制御方法が実行可能なプログラムを記憶した記憶媒体、並びに、当該プログラムが実行可能なサーバに関する。

【0002】

【従来の技術】

近年、インターネットの普及は目覚しく、企業側としてもこのようなインターネットを通じて製品や部品の発注を行なうことが多くなっている。

【0003】

しかしながら、このような企業側からの受注をインターネット等を通じて受け付けるためには、企業側が可及的に在庫を抱えないことが重要視される現在の厳しい環境下においては、前記企業側に対して納期や数量に対する信用をネット上での販売業者に対してどのようにして高めるのかも重要な要素となりつつある。

【0004】

特に、このような納期や数量に対する企業からの信用を得ることが難しいネット上の業者としては、多数の製品又は商品の供給元となり得る零細な製品又は部品供給メーカーからの在庫情報を取りまとめて、企業等のユーザに対して開示し、この開示した情報に基づいて企業等のユーザが製品又は部品発注を行なう場合に、各々の零細な製品又は部品供給メーカーに対しての信用をどのようにして客観的にユーザである企業に伝えるかが問題となり、このような問題に対する配慮も今後この種のネット製品又は部品販売において重要な要素となることが予測される。

【0005】

【発明が解決しようとする課題】

しかるに、上記従来のWEBサーバのWEBページを通じて不特定多数の商品又は部品等の販売元の在庫情報を掲載して、当該掲載したWEBページを不特定多数のユーザの端末から閲覧可能に構成して、前記WEBページを利用したネット販売を行なう場合には、その在庫情報の正確さが重要なポイントとなる。

【 0 0 0 6 】

つまり、前記WEBサーバの在庫情報をユーザが端末を通じて確認することになるが、その在庫情報が古ければ、当てにした日に当てにしていた数の部品や製品の購入ができなくなってしまう恐れがあり、特に在庫を抱えずに部品調達を目的としたユーザにとっては、その後の製品製造に影響する重大なリスクを背負い込むことになるのが容易に予測可能である。

【 0 0 0 7 】

このような問題は、WEBサーバの管理者が極めてリアルタイムに在庫情報の更新を行なうことで一見容易に解消できると思われるが、このようなリアルタイムの在庫情報の更新は非常に手間がかかり、現実的には不可能に近いものであった。このように、在庫情報の更新の入力に手間がかかることは、供給元ユーザで管理している在庫情報データベースから在庫情報をプリントアウトし、そのプリントした在庫情報を見ながらオペレータが端末を使用して、前記在庫情報データベースとは異なる入力項目の順序／入力項目数の入力フォームとなっている他のデータベースに入力することが必要な従来の方法を想像すれば明らかである。

【 0 0 0 8 】

その理由として、前記WEBサーバのWEBページを利用して在庫の揭示を行なうユーザに販売する製品又は部品供給メーカは、そのWEBページ以外のルートでも製品又は部品販売を行なっているのが一般的であって、全ての販売行為がこのWEBサーバを仲介としての販売とならないことが掲げられる。しかしながら、製品又は部品供給メーカとしても、全ての製品及び部品の販売をWEBサーバの管理者を通じて行なうことも現時点では商売としてリスクが大きすぎるのも否定することができない。

【 0 0 0 9 】

したがって、この発明を提案する発明者は、上記在庫情報を製品又は部品供給

メーカ自身に所有するWEB端末を利用して更新させるようにすることが最も良策であろうと考えた。

【0010】

しかしながら、このような在庫情報の更新作業も人的資源の乏しい零細企業にとっては非常に厄介なものであり、また、このようなネット販売を目指したネット上の管理者の立場としては、極めて多数の製品又は部品供給メーカの製品又は部品をネット上で一括して扱わなければ、自らのWEBサーバを利用して製品又は部品を販売している大手の製品又は部品供給メーカに対して対抗することができない。

【0011】

このような課題から、本発明者は、製品又は部品供給メーカが自ら所有する在庫情報の電子情報を可及的にそのまま利用して、WEBサーバ上のWEBページを更新できるようにすることにより、可及的にリアルタイムでデータ更新が可能となるような、簡便な入力制御方法を提供することを目的としてこの発明を案出した。

【0012】

【課題を解決するための手段】

上述した課題を解決するため、考慮しなければならない要因としては、第1に、WEBサーバのWEBページを製品又は部品供給メーカが自ら所有する在庫情報の電子情報を可及的にそのまま利用して入力できるようにするためには、「ある製品又は部品供給メーカ」ごとに「ある製品又は部品」に係る複数の入力項目が数字、カタカナ、アルファベット、文字、その他記号の羅列された情報である可能性があるため、その区切りが何処であるかを識別できるようにする必要があること、第2に、WEBサーバのWEBページを製品又は部品供給メーカが自ら所有する在庫情報の電子情報を可及的にそのまま利用して入力できるようにするためには、「ある製品又は部品供給メーカ」ごとに「ある製品又は部品」に係る複数の入力項目が順不同で羅列されている情報である可能性があるため、その入力種別が何であるかを識別できるようにする必要があることである。

【0013】

このような考慮すべき観点から、数字、カタカナ、アルファベット、文字、その他記号で形成された入力項目情報を、パール（P e r l）又はテキスト形式等の様々なソフトでコンバート可能な予め定められた所定の形式で、製品又は部品供給メーカーが自ら所有する在庫情報の電子情報をペースト（貼付け）操作によりWEBページの入力領域に入力させるように促し、入力された前記電子情報としての複数の入力項目の区切り記号を、当該製品又は部品供給メーカー自身により入力させて、その入力させた区切り記号を基に各单位入力項目ごとに分離認識することを第1の発明とし、また、入力項目が個々の製品又は部品供給メーカーごとに異なる可能性が高いため、その入力項目の種別を種別選択表示窓によって選択入力させるようにする第2の発明とを案出した。

【 0 0 1 4 】

上記第1の発明においては、区切り記号が判明し、単位入力項目ごとに認識できるようになれば、入力項目自体は、予めどの人にも共通に理解できるような品番や品種等の在庫情報であるから、文字認識により機械的に認識させることが可能となる。例えば、ネット販売の対象が半導体部品であるとすれば、その品種での記載がSRAMとすると、スタティックRAMのことであるのは明らかであり、品番についても各メーカーごとに定められた形式の品番となっているから、これらの情報を予めWEBサーバ内に用意しておけば、入力項目が個々の製品又は部品供給メーカーごとに異なっているとしても、自動的に認識して入力された入力項目のならびを編集処理し、全てのユーザに共通フォーマット形式とした複数の製品又は部品供給メーカーの全ての在庫情報を一括開示することが可能となるものである。

【 0 0 1 5 】

また、第2の発明では、一般的に製品又は部品供給メーカーが、そのユーザに対して提供する情報も共通化しているため、予め予測される情報の入力項目を種別選択表示窓に用意することが可能であり、予測される入力項目の全てを複数の種別選択表示窓の各々に予め用意することによって、この種別選択表示窓内の複数の入力項目を製品又は部品供給メーカーに所有するWEB端末を利用して簡便に入力させることを促すことが可能となる。

【 0 0 1 6 】

より具体的には、本発明において次のようなものを提供する。

【 0 0 1 7 】

(1) 複数の端末に接続され、当該複数の端末との間で送受信を行うサーバであって、単一のマターを表示する単一項目表示が複数個集合したものからなる複数項目表示を貼付ける貼付け領域と、この貼付け領域に貼付けられた複数項目表示に対して、当該複数項目表示に含まれている各単一項目表示に対応する単一のマターを選択して確定表示させ得る単一マター表示窓と、前記端末の表示画面に表示させることを特徴とするサーバ。

【 0 0 1 8 】

(1) の発明によれば、例えば、半導体部品の在庫情報などの単一のマターを表示するための、品番，メーカー，価格，納期などの各々の単一項目表示が複数個集合したものからなる複数項目表示を貼付ける貼付け領域を有し、この貼付けた領域に前記端末との送受信により貼付けられた単一のマターにおける前記単一項目表示の順序が何を意味するのかを、前記貼付け領域に貼付けられた前記複数項目表示に含まれる各単一項目表示に対応する単一マター表示窓の単一のマターを端末から選択することによって、サーバ側から認識することができる。よって、前記貼付け領域に貼り付けられる単一のマターの単一項目表示の並びが前記複数の端末の端末ごとに異なった場合でも、サーバが各単一のマターの各単一項目表示の意味を正確に認識して、それら複数の端末から収集したデータに基づいて、例えば、半導体部品の供給先ユーザの所有する他の端末の表示部に対して検索抽出したものを表示可能なデータベースの構築が可能となる。

【 0 0 1 9 】

(2) 前記複数項目表示は、複数個の単一項目表示が直列しているものであることを特徴とする上記 (1) 記載のサーバ。

【 0 0 2 0 】

(2) の発明によれば、貼付ける場合に複数段にわたって表示されるものに比べて貼付け（ペースト）操作がし易くなるといったメリットがある。

【 0 0 2 1 】

(3) 複数の入力項目を有するWEBページに対して、WEB端末からの操作によって、テキスト形式等の所定の形式で予め用意された前記複数の入力項目に係る入力項目情報をペースト操作により一括入力することが可能な入力制御方法であって、前記一括入力に際して、前記複数の入力項目ごとの仕切り記号の入力を促し、当該入力された仕切り記号を識別することによって、前記一括入力された前記複数の入力項目を各单位入力項目ごとに分離認識可能とすることを特徴とする入力制御方法。

【0022】

(3) の発明によれば、複数の入力項目を予め用意された入力項目情報から切り取り又はコピーしてペースト操作（貼付け）することによって、簡易に複数の入力項目の入力を完了することができる。より具体的には、文字列が並ぶ複数入力項目の入力項目情報を単にペースト操作しても、そのペースト操作された文字列の単位項目の境目が判別できないが、この発明では、前記境目となる箇所に仕切り記号を介在させるとともに、その仕切り記号をWEB端末の入力者に対して問いかけ、前記仕切り記号の入力を促すようにしているから、入力項目ごとの境目が「カンマ」あるいは「スペース」であるかに関係なく、WEBページを監視するWEBサーバ側で判別することが可能となる。

【0023】

また、専用の通信回線を使用したローカルネットワークにおいては、予め用意する入力項目の入力ルールを制限することが容易であるが、この発明の前提となる不特定多数のWEB端末によって入力させるような環境においては、ペースト操作元の入力項目情報の入力形式を予め制限することが困難であり、この発明のように、前記仕切り記号をWEB端末の使用に対して問いかけるようにすることにより、前記WEB端末の入力者がめいめい異なったペースト操作元の入力項目情報を用意していても、前記仕切り記号を認識することによって、各单位入力項目を識別することができるように配慮が行なわれている。

【0024】

(4) WEB端末側においてテキスト形式等の所定の形式で入力すべき複数の入力項目を、順不同に連続して並べられた群からなる入力項目情報として予め

用意し、前記WEB端末からの操作によって、当該WEB端末とインターネット通信網を通じて接続可能なWEBサーバのWEBページに対して、前記複数の入力項目の群を前記WEB端末側からのペースト操作により列状に一括入力することが可能な入力制御方法であって、前記複数の入力項目の群を列状に一括入力される入力領域の近傍には、前記列状に一括入力されるべき並び方向と平行に、前記複数の入力項目の数に応じた複数の種別選択表示窓を各々配置してなり、当該種別選択表示窓に対し前記列状に一括入力された前記複数の入力項目の入力種別の入力を促すことを特徴とする入力制御方法。

【 0 0 2 5 】

(4) の発明によれば、例えば、WEB端末側でめいめい勝手な取り決めによって、複数の入力項目を順不同に連続して並べられた群からなる入力項目情報として予め用意した場合であっても、ペースト操作により一括入力した後に、それぞれの入力項目を順不同で列状に連続して入力された状態の各入力項目がどの入力種別のものであるかを種別選択表示窓を使用してWEBサーバから判別できるようにすることができる。

【 0 0 2 6 】

また、逆に、WEB端末側での前記入力項目の順序をWEBサーバで管理する必要がなくなるし、WEB端末側では、他の目的で作成した在庫管理表などのデータをそのまま使用して、WEBページ上でその潜在ユーザに対して在庫情報を提示して、部品又は製品発注を促すことが用意に可能となるといった利点がある。

【 0 0 2 7 】

(5) 製品発注のための複数の入力項目をWEB端末を通じてWEBサーバのWEBページに入力するにあたり、前記WEB端末側で予め用意された前記複数の入力項目からなる入力項目情報を利用してテキスト形式等の所定の形式で前記WEBページに前記WEB端末側からのペースト操作により一括入力することが可能な入力制御方法であって、前記複数の入力項目は、品番、単価、数量、納期などの数字やアルファベット或いはカタカナなどの複数種類の入力項目情報が混在し、その入力項目もWEB端末側でめいめい異なる順序で連続して並べられ

た群として形成されている可能性のあるものであり、前記WEBサーバは、前記一括入力に際して、前記複数の入力項目ごとの仕切り記号の入力をWEB端末側に促し、当該入力された仕切り記号を識別処理することによって、前記一括入力された前記複数の入力項目を各单位入力項目ごとに分離認識可能とする一方、前記WEBサーバは、前記一括入力に際して、前記複数の入力項目ごとの入力種別を前記複数能入力項目を列状に一括入力させる前記WEBページの入力領域の近傍に、前記複数の入力項目の数に応じた前記入力種別の選択入力用の種別選択表示窓を各々配置し、その種別選択表示窓に前記WEB端末を通じての選択入力を促し、当該種別選択表示窓入力された入力種別に応じて他のWEB端末からのWEBページへの入力情報との整合性を取るための、統一した複数の入力項目の並びからなるフォーマットに変換処理することを特徴とする入力制御方法。

【 0 0 2 8 】

(5) の発明によれば、WEB端末側（製品販売側）が予めめいめいの在庫管理のためのデータを利用して、WEBサーバのWEBページにその在庫情報を掲示するための入力が極めて楽になるとともに、入力項目の並びが他のWEB端末側での管理の仕方と異なっている場合であっても、その入力項目の入力種別の判別を個別に行ない、その判別の結果に基づいて共通の入力項目の並びとなった共通のフォーマットに変換して、この共通のフォーマットに変換されたWEBページを見て、需要者であるWEB端末が欲しい製品を簡単に吟味して製品発注を行なうことができるように促すことが可能となる。

【 0 0 2 9 】

(6) 複数の入力項目を有するWEBページに対して、WEB端末からの操作によって、テキスト形式等の所定の形式で予め用意された前記複数の入力項目に係る入力項目情報をペースト操作により一括入力することが可能な入力制御方法が実行可能なプログラムを記憶した記憶媒体であって、前記一括入力に際して、前記複数の入力項目ごとの仕切り記号の入力を促し、当該入力された仕切り記号を識別することによって、前記一括入力された前記複数の入力項目を各单位入力項目ごとに分離認識可能とすることを特徴とする入力制御方法が実行可能なプログラムを記憶した記憶媒体。

【 0 0 3 0 】

この発明によれば、上記（３）の発明と同様の効果を奏するものである。

【 0 0 3 1 】

（７） ＷＥＢ端末側においてテキスト形式等の所定の形式で入力すべき複数の入力項目を、順不同に連続して並べられた群からなる入力項目情報として予め用意し、前記ＷＥＢ端末からの操作によって、当該ＷＥＢ端末とインターネット通信網を通じて接続可能なＷＥＢサーバのＷＥＢページに対して、前記複数の入力項目の群を前記ＷＥＢ端末側からのペースト操作により列状に一括入力することが可能な入力制御方法が実行可能なプログラムを記憶した記憶媒体であって、前記複数の入力項目の群を列状に一括入力される入力領域の近傍には、前記列状に一括入力されるべき並び方向と平行に、前記複数の入力項目の数に応じた複数の種別選択表示窓を各々配置してなり、当該種別選択表示窓に対し前記列状に一括入力された前記複数の入力項目の入力種別の入力を促すことを特徴とする入力制御方法が実行可能なプログラムを記憶した記憶媒体。

【 0 0 3 2 】

この発明によれば、上記（５）の発明と同様の効果を奏するものである。

【 0 0 3 3 】

（８） 製品発注のための複数の入力項目をＷＥＢ端末を通じてＷＥＢサーバのＷＥＢページに入力するにあたり、前記ＷＥＢ端末側で予め用意された前記複数の入力項目からなる入力項目情報を利用してテキスト形式等の所定の形式で前記ＷＥＢページに前記ＷＥＢ端末側からのペースト操作により一括入力することが可能な入力制御方法が実行可能なプログラムを記憶した記憶媒体であって、前記複数の入力項目は、品番、単価、数量、納期などの数字やアルファベット或いはカタカナなどの複数種類の入力項目情報が混在し、その入力項目もＷＥＢ端末側でめいめい異なる順序で連続してならべられた群として形成されている可能性のあるものであり、前記ＷＥＢサーバは、前記一括入力に際して、前記複数の入力項目ごとの仕切り記号の入力をＷＥＢ端末側に促し、当該入力された仕切り記号を識別処理することによって、前記一括入力された前記複数の入力項目を各単位入力項目ごとに分離認識可能とする一方、前記ＷＥＢサーバは、前記一括入力

に際して、前記複数の入力項目ごとの入力種別を前記複数能入力項目を列状に一括入力させる前記WEBページの入力領域の近傍に、前記複数の入力項目の数に応じた前記入力種別の選択入力用の種別選択表示窓を各々配置し、その種別選択表示窓に前記WEB端末を通じての選択入力を促し、当該種別選択表示窓入力された入力種別に応じて他のWEB端末からのWEBページへの入力情報との整合性を取るための、統一した複数の入力項目のならばからなるフォーマットに変換処理することを特徴とする入力制御方法が実行可能なプログラムを記憶した記憶媒体。

【 0 0 3 4 】

この発明によれば、上記（５）の発明と同様の効果を奏するものである。

【 0 0 3 5 】

（９） インターネット等の通信回線を通じて他のWEB端末から電子情報の入力可能なWEBサーバであって、前記WEB端末との接続及び認証を条件として、複数の入力項目を有するWEBページに対して、WEB端末からの操作によって、テキスト形式等の所定の形式で予め用意された前記複数の入力項目に係る入力項目情報をペースト操作により一括入力することを許容するとともに、前記一括入力に際して、前記複数の入力項目ごとの仕切り記号の入力を促す一方、当該入力された仕切り記号を識別することによって、前記一括入力された前記複数の入力項目を各单位入力項目ごとに分離認識処理を行なう制御手段を備えたことを特徴とするサーバ。

【 0 0 3 6 】

（９）の発明によれば、認証を条件として、上記（１）の発明と同様の効果を奏するサーバを提供できるものである。

【 0 0 3 7 】

（１０） インターネット等の通信回線を通じて他のWEB端末から電子情報の入力可能なWEBサーバであって、前記WEB端末との接続及び認証を条件として、当該WEB端末側において予め用意された、テキスト形式等の所定の形式で入力すべき複数の入力項目を順不動に連続して並べられた群からなる入力項目情報を、前記WEB端末からの操作によって、WEBサーバのWEBページに

対してペースト操作により列状に一括入力することを許容するとともに、前記複数の入力項目の群を列状に一括入力される入力領域の近傍には、前記列状に一括入力されるべき並び方向と平行に、前記複数の入力項目の数に応じた複数の種別選択表示窓を各々配置した状態を前記WEB端末の表示部に表示せしめて、当該種別選択表示窓に対し前記列状に一括入力された前記複数の入力項目の入力種別の入力を促し、且つ、前記種別選択表示窓に選択入力された入力種別と、当該種別選択表示窓に対応した入力項目とを関連付けて格納する処理を行なう制御手段を備えたサーバ。

【 0 0 3 8 】

上記（１０）の発明によれば、認証を条件として、上記（２）の発明と同様の効果を奏するサーバを提供できるものである。

【 0 0 3 9 】

（１１） インターネット等の通信回線を通じて他のWEB端末から電子情報の入力可能なWEBサーバであって、前記WEB端末との接続及び認証を条件として、製品発注のための複数の入力項目を前記WEB端末を通じて前記WEBサーバのWEBページに入力するにあたり、前記WEB端末側で予め用意された前記複数の入力項目からなる入力項目情報を利用して前記WEBページに前記WEB端末側からのペースト操作により一括入力することを促し、品番、単価、数量、納期などの数字やアルファベット或いはカタカナなどの複数種類の入力項目情報が混在した前記複数の入力項目は、その入力項目も前記WEB端末側でめいめい異なる順序で連続して並べられた群として形成されている可能性のあるものであり、前記一括入力に際して、前記複数の入力項目ごとの仕切り記号の入力をWEB端末側に促して、当該入力された仕切り記号を識別処理することによって、前記一括入力された前記複数の入力項目を各单位入力項目ごとに分離認識処理の制御を行ない、且つ、前記一括入力に際して、前記複数の入力項目ごとの入力種別を前記複数能入力項目を列状に一括入力させる前記WEBページの入力領域の近傍に、前記複数の入力項目の数に応じた前記入力種別の選択入力用の種別選択表示窓を各々配置した画像を前記WEB端末に送信し、その種別選択表示窓に前記WEB端末を通じての選択入力を促し、当該種別選択表示窓入力された入力

種別に応じて他のWEB端末からのWEBページへの入力情報との整合性を取るための、統一した複数の入力項目の並びからなるフォーマットに変換処理する制御を行なう制御手段を備えることを特徴とするサーバ。

【0040】

上記(11)の発明によれば、認証を条件として、上記(3)の発明と同様の効果を奏するサーバを提供できるものである。

【0041】

なお、上記(9)～(11)のサーバの発明においては、WEB端末の接続及び認証が完了してから、複数の入力項目の入力の更新又は新規入力をWEB端末に促して、前記複数の入力項目の入力を可能ならしめるようにしている。これは、在庫情報等の複数の入力項目を外部のWEB端末に担わせるため、誰でもWEB端末を使用して入力可能とならないようにするための配慮である。

【0042】

また、上記発明における「種別選択表示窓」及び「単一マター表示窓」とは、前記WEBページ上に、予め予測される複数の入力項目を図7、図8の符号Tに示すものであって、この符号Tの領域に配置した複数の入力項目の中から前記WEB端末の入力手段によって選択入力させるものである。このように、前記WEBページ上に貼付け（ペースト）作業により配置される複数の入力項目の各々が何を意味する情報であるのかを、予め前記WEBサーバ側が用意した複数項目の中から、前記WEB端末の入力手段により入力するようになっているから、前記WEB端末の入力者が一々の入力項目の入力作業が必要とないたため入力作業自体が簡便となるとともに、最終的に、上記発明では、複数の前記WEB端末の入力者の入力データを検索可能な状態のデータベース化を行ない、複数の前記WEB端末からの異なる製品又は部品供給メーカにより在庫情報等のユーザへの揭示情報を当該ユーザの要求に応じて検索抽出して提供することになるから、その入力項目が前記WEB端末の入力者ごとに表現が異なりデータベース化及び検索に支障を来すなどの恐れを回避することができる。

【0043】

また、上記発明において、前記「一括入力」とは、少なくとも2以上の複数の

入力項目をペースト作業で一挙に入力することであって、ある在庫情報等に係る 1 つの対象を表す全ての入力項目を一括入力することに限定されない。

【 0 0 4 4 】

【発明の実施の形態】

以下、本発明に係るインターネット等の広域ネットワークを用いた在庫情報の入力制御方法が実行可能なサーバを適用したネットワークシステムに好適な実施の形態について、図を参照しながら説明する。

【 0 0 4 5 】

図 1 は、本発明に係るインターネット等の広域ネットワークを用いた在庫情報の入力制御方法が実行可能なサーバを適用したネットワークシステム 1 の構成を示すブロック図である。

【 0 0 4 6 】

この図 1 に示すネットワークシステム 1 において、パケット網 / P D C (P e r s o n a l D i g i t a l C e l l u l a r) 網 2 に対して、基地局 3 A , 3 B , 3 C . . . を介して不特定多数のユーザの所有する携帯端末 4 A . . . 4 A が接続されるようになされており、インターネット網 6 に対して、不特定多数のユーザの所有するパーソナルコンピュータ 4 B が接続されるようになされている。

【 0 0 4 7 】

上記サーバ管理者側の立場から見た前記ユーザとしては、「製品又は部品供給メーカ（以下、供給元ユーザという）」或いは当該「製品又は部品供給メーカ（以下、供給先ユーザという）」のユーザでもある企業等のユーザとが存在する。

【 0 0 4 8 】

前記携帯端末 4 B は、ザウルス（シャープ製の製品名）又はその他のメーカーにより一般に普及している入力端末であって、この実施の形態では、後述するような当該端末内に記憶する在庫管理データをインターネット等に接続される W E B サーバの W E B ページに入力作業が行なえるものであれば何でも本発明における W E B 端末として採用することが可能であるが、現時点での前記携帯端末 4 B の性能を考慮すれば、前記携帯端末 4 B よりも前記パーソナルコンピュータ 4 B を

この発明のWEB端末として使用することが好ましい。

【0049】

前記各携帯端末4 A又はパーソナルコンピュータ4 BのWEB端末は、パケット網／PDC網2やインターネット網などの通信回線網を介して互いに音声データや文字データの授受を例えばTDMA (Time Division Multiple Access) と呼ばれる時分割多重接続方式で行なうことができる。前記携帯端末4 Aは、互いに数字、アルファベット、カタカナなどの文字データ、或いは画像データ等の授受を行なうことに加えて、パケット網／PDC網2を介してパケット通信によって情報センタ5にアクセスすることができる。情報センタ5は、携帯端末4 Aからの要求に応じて、インターネット網6に接続されているサーバ7 A、7 B又は専用線によって接続されているサーバ8からの種々の情報を取得し、これを要求元の携帯端末4 Aに受け渡す。また、前記携帯端末4 A及び前記サーバ8は、ネットワークを通じて他のコンピュータを使用することができるWWWの情報共有システムにおけるWEB端末、WEBサーバであるから、前記サーバ8内のWEBページに対して前記携帯端末4 Aの入力手段の操作によって書き込みなどのデータ入力が可能となっている。前記パーソナルコンピュータ4 Bも同様にWEB端末として可動するものであって、前記サーバ8内のWEBページに対してのデータ入力が可能となっている。

【0050】

さらに、この発明におけるインターネット等の広域ネットワークを用いた入力制御方法が実行可能なサーバとしては、サーバ7 (サーバ7 A、7 B) 又は専用線によって接続されているサーバ8のいずれであっても採用可能である。

【0051】

図2は、供給先ユーザ又は供給元ユーザの所有する携帯端末4 Aの構成を示すブロック図である。この図2に示されるように、携帯端末4 Aにおいては、データバスBUSにCPU11、メモリ12、基地局3 A、3 B、3 C・・・との間で信号の送受信を行なう送受信部(RF)15、送受信部15において受信したRF(Radio Frequency)信号をベースバンド信号に変換すると共に、送信しようとするベースバンド信号をRF信号に変換するベースバンド処

理部 1 6、マイクロホン 1 8 及びスピーカ 1 9 とのインターフェースである音声入力処理部、液晶表示パネル等で構成された表示部 1 4 及びマウス及びキーボード等の入力手段としての入力操作部 1 3 が接続されている。

【 0 0 5 2 】

C P U 1 1 は、メモリ 1 2 に格納されている動作プログラムに従って種々の動作を実行するようになされており、当該動作に応じて各回路部を制御する。C P U 1 1 の各種処理内容は必要に応じて表示部 1 4 に表示される。

【 0 0 5 3 】

入力操作部 1 3 は、ユーザが所望の通話先（例えば、インターネット等のプロバイダー又は携帯電話）の電話番号を入力すると、当該電話番号を表すデータを C P U 1 1 に供給する。C P U 1 1 はユーザが入力した電話番号で表される通信先に対して、送受信部 1 5 を介して接続要求を送信する。このときパケット網／P D C 網 2 は通信先の応答に応じて回線を接続する。回線が接続されると、送受信部 1 5 は、アンテナを介して受信した通信先からの R F 信号をベースバンド処理部 1 6 に供給し、ここで R F 信号をベースバンド信号に変換する。ベースバンド処理部 1 6 は当該変換されてなるベースバンド信号を入出力部 1 7 に供給することにより、受信された通信先からの音声信号をスピーカから音声として出力したり、映像信号を表示部 1 4 に表示する。

【 0 0 5 4 】

また、ユーザがマイクロホン 1 8 を介して音声入力すると、入出力部 1 7 はマイクロホン 1 8 から供給される入力音声信号をベースバンド処理部 1 6 に供給し、ここでベースバンド信号を R F 信号に変換する。そしてベースバンド処理部 1 6 は当該変換されてなる R F 信号を送受信部 1 5 を介してパケット網／P D C 網 2 に回線接続された通信先に対して送信する。かくして携帯端末 4 A を使用するユーザは、通信先である他のユーザの携帯端末との間で会話を行なうことができる。

【 0 0 5 5 】

また、上記メモリ 1 2 には、通信ソフトとしてインターネットエクスプローラ（製品名）が記憶されており、この通信ソフトを使用することによって、サーバ

7, 8からの情報をその表示部14で表示するとともに、前記サーバ7, 8のWEBページの書換などのデータ入力を携帯端末4Aの入力操作部13の操作により行なうことができる。

【0056】

さらに、供給元ユーザの携帯端末4Aの前記メモリ12には、エクセル（製品名）などの表計算ソフトが記憶されており、この表計算ソフトにより構築された在庫情報データベースが構築されており、このデータベース内の在庫情報に基づいて、入力操作部13のマウスの操作によって、前記エクセルで構築された在庫情報をWEBページにコピーアンドペーストによって、前記WEBページのデータ入力に必要な複数の入力項目に一括入力するようにしている。詳しくは、後述する。

【0057】

より具体的には、CPU11が、ユーザにより操作された入力操作部13の種々の電子情報をパケットデータに変換した後、これをベースバンド処理部16及び送受信部15を介してパケット網/PDC網2に送信する。パケット網/PDC網2は、このパケットデータを情報センタ5に送る。また、情報センタ5からパケット網/PDC網2を介して送信されるパケットデータ化された情報が、重層されたRF信号を、送受信部15及びベースバンド処理部16を介して取りこみ、表示部14に表示する。

【0058】

図3は、供給先及び供給元ユーザが所有するWEB端末としてのパーソナルコンピュータ4Bの構成を示すブロック図である。この図3に示されるように、パーソナルコンピュータ4Bは、データバスに接続されたCPU21、メモリ或いはハードディスク等の記憶部22、モデム23、CRTや液晶等の表示部24、並びにキーボードやマウス等の入力手段としての入力操作部25とから構成されている。そして、前記CPU21は、メモリ22内に格納されたインターネットエクスプローラなどの通信プログラムによって、前記モデム23を介して前記サーバ7, 8との通信回線網を通じて接続される。この接続された状態で、このパーソナルコンピュータ4Bにより、前記WEB端末としての携帯端末4Aと同

様に種々の電子情報をサーバ 7、8 との間で送受信することができる。

【 0 0 5 9 】

図 4 はサーバ 7 の構成を示すブロック図である。この図に示すように、サーバ 7 は、データバス B U S に接続された C P U 3 1、メモリ 3 2、通信インターフェース 3 3 及びデータベース 3 4 を有し、C P U 3 1 はメモリ 3 2 に格納されている制御プログラムにしたがって種々の処理を実行するようになされている。

【 0 0 6 0 】

すなわち、C P U 3 1 は通信インターフェース 3 3 によって接続されたインターネット網 6 を介して、送信される各 W E B 端末 4（携帯端末 4 A，パーソナルコンピュータ 4 B）からの入力情報を受け取り、これをメモリ 3 2 に記憶し、その記憶した電子情報の中のデータベース化が必要なものをデータベース 3 4 に格納する。

【 0 0 6 1 】

この制御プログラムとしては、基本 O S としてのシステムプログラムと、前記供給元及び供給先ユーザの W E B 端末 4（4 A，4 B）からのアクセス時に真性なユーザからのアクセスかどうかを判定するための認証プログラム、W E B 端末 4 との電子情報の送受信を行うための通信プログラム、W E B ページに対しての半導体部品の在庫情報を入力させるための案内プログラム、当該入力を促し複数の W E B 端末からの在庫情報に係る複数の入力項目の入力結果を、前記供給元ユーザの W E B 端末 4 からの検索可能なように自動的にデータベース化するためのデータベース化自動編集プログラム、前記入力された在庫情報の時限管理を行う時限管理プログラム等を含んでいる。

【 0 0 6 2 】

前記制御プログラムと C P U 3 1 とによって制御部を構成しており、当該制御部は、後述するように W E B 端末 4 を介して複数の供給元ユーザからの前記在庫情報を受け取り、複数の供給先ユーザに対して検索可能な状態にデータベース化し、当該データベース化された在庫情報を前記供給先ユーザに対して検索を促して、その検索結果の表示データを生成したものを前記供給先ユーザに W E B 端末 4 を介して開示し、見積もりの作成の要否を問いかけることにより、前記供給元

ユーザと供給先ユーザとの仲介を行なうのである。簡単に言えば、ネット総合問屋のような役割を、前記制御部を含むWEBサーバ7が担うことになる。サーバ8については、専用回線に接続されている点のみでサーバ7と相違するものである同一の構成からなるサーバであるから繰り返しの詳細な説明は省略する。

【 0 0 6 3 】

また、メモリ32には、前記供給元ユーザ及び供給先ユーザとのID情報（住所、電話番号、取引履歴情報、会社情報など、IDコード、パスワード）と、WEB端末4の表示部14，24に対して表示が可能な表示画面データが記憶されている。

【 0 0 6 4 】

次に、図5～図7に基づいて、在庫情報をWEBサーバ7に対して前記供給元ユーザが自らの所有する半導体部品の在庫情報を入力し、その結果に基づいてサーバ7が在庫情報をデータベース化して、前記供給先ユーザに対して所望の在庫情報の検索を可能ならしめて、当該検索結果を供給先ユーザに提供する大まかなフローを説明する。

【 0 0 6 5 】

図5を参照して、まず、供給元ユーザは、サーバ7に登録すべき在庫情報を自ら管理している台帳や管理データベースにより抽出する。この抽出した在庫情報を通信網2，6を介してサーバ7に接続する。この時、サーバ7は、その接続して在庫情報を入力しようとする供給元ユーザが真性なユーザであるかどうかを、予め記憶した前記IDコード及びパスワードとにより認証作業をサーバ7の制御部により行なう。

【 0 0 6 6 】

認証が終了すると、図6及び図7に示すようなWEB端末4の入力操作部13，25により入力可能なWEBページとしての入力項目表示画面を表示する。

【 0 0 6 7 】

図6は、「ある半導体部品」Aごとに複数の入力項目（単一のマターの複数個集合したもの）B，C，D，E，F，G，H，J，Kの群からなる入力項目がサーバ7により設定されている。「ある半導体部品」Aの複数の入力項目をより具

体的に説明すると、商品型番としての型式番号B，商品メーカー名としてのメーカーC，製造年週としてのデイトコードD，在庫数量を表す数量E，パッケージ状態を示すパッケージF，在庫状況を示す状態G，単価H，納期J，パッケージ状態をより詳細に記入する備考Kで構成されている。そして、前記各入力項目B，C，D，E，F，G，H，J，Kは、各々単一項目表示として領域区画されてWEB端末4の表示部に表示される。

【0068】

しかも、一つの在庫情報としての「ある半導体部品」Aを表す、前記単一項目表示が複数個集合したものからなる在庫情報が、各々の単一マターとしての入力項目ごとに直列して所定の領域に収められて入力されるように促すようにしている。しかも、直列状に入力項目が配置され、各々が区画された各領域の上部には入力種別としてのヘッダL，Mが予めサーバ7側で定めてレイアウト配置されている。

【0069】

このようにレイアウト配置された前記WEBページに対して、供給元ユーザがWEB端末4の入力操作部を操作して、上記各入力項目への入力作業を各々行うことによって、在庫情報の入力が完了するようにしている。

【0070】

そして、各入力項目に対する入力の仕方は、各々の入力項目が対応する前記ヘッダL又はヘッダMによって異なるようにしており、各々のヘッダL，Mは、WEB端末4の入力操作部13，25により変更不可の文字又はアルファベット或いは数字などの文字情報の何を入力したら良いかを供給元ユーザに知らしめるためのヘッダ情報がWEB端末4の表示部14又は24を介して表示される。

【0071】

ヘッダLに対応する区画された入力項目への入力の仕方は、ヘッダLに記された前記文字情報をWEB端末4の表示部14又は24を視認しながら、何を入力したら良いのかを供給元ユーザが認識し、そのヘッダLに該当する当該供給元ユーザの抱える在庫情報の「ある半導体部品」Aに関する単一のマターをWEB端末4の入力操作部13又は25により入力する。

【 0 0 7 2 】

また、ヘッダMに対応する区画された入力項目への入力の仕方は、各入力項目に入力する文字情報が予測可能であり、その表現が供給元ユーザによって異なることになる可能性があるため、前記入力項目として予測可能な複数の選択項目を当該入力すべき入力項目の位置に、マウスなどの入力操作部 1 3, 2 5 の操作によって表示部 1 4, 2 4 に表示されるマウスポインタを移動させることにより表示される種別選択表示窓Nの中に全て表示されるように構成しており、この表示された前記選択項目の中から入力したい入力項目を入力操作部 1 3, 2 5 により選択して入力するようにしている。よって、供給元ユーザごとにその入力項目に異なる文字情報で表現されて後にデータベース化する際の妨げになることを事前に回避することができるようになる。

【 0 0 7 3 】

このように、半導体部品ごとに複数の入力項目が各々区画された状態で 1 直列状に配置され、予め区画されたボックス状の複数の入力項目に対し、供給元ユーザはWEB端末4により個別入力を行ない、全ての入力項目の入力が完了した段階で、入力操作部 1 3, 2 5 により、送信ボタンPを入力操作部 1 3, 2 5 としてのマウスによってクリックすれば、サーバ7にその入力した在庫情報が入力するために送信される。送信を行なわない場合には、クリアボタンRを前記マウスによりクリックして入力した情報を全てクリアにして再度入力しなおすことも可能としてある。図6に示すような前記WEBページとしての入力画面は従来から存在するものであり、このように複数の入力項目に入力することは、この実施の形態で例示する半導体部品の場合では、ある一つの半導体部品を在庫情報として供給先ユーザに十分な情報提示するための、複数の入力項目からなる在庫情報の情報入力量が、アルファベットや数字或いは記号などの複数種類の文字情報からなる非常に入力誤りが起こり易いものである関係から、その入力操作の簡便化が望まれている。

【 0 0 7 4 】

そこで、この実施の形態では、図7に示す前記WEBページのように、前記「ある一つの半導体部品を在庫情報として供給先ユーザに十分な情報提示するため

の、複数の入力項目からなる在庫情報の情報入力量」を可及的に少なくするために、図6の入力表示画面とは異なる入力表示画面を同一のWEBページ上に掲載するようにしている。

【0075】

図7に示すのは、前述した図6とは異なる入力の仕方を行なうことが可能なWEBページとしての入力表示画面であって、複数の入力項目（前記単一のマターを）の入力用の区画されない単一の入力領域Sが形成されており、当該入力領域に対して、WEB端末からの操作により、テキスト形式等の所定の形式で予め用意された前記複数の入力項目に係る入力項目情報をペースト操作により一括入力するようにしている。

【0076】

前記「テキスト形式等の所定の形式で予め用意された前記複数の入力項目に係る入力項目情報」は、予め前記供給元ユーザがエクセル（表計算ソフト名）などにより作成したものを、一旦、テキストデータにコンバートしたものが用いられる。

【0077】

前記入力領域Sの貼り付け（ペースト）領域の上方には、区画された前記入力領域に複数の入力項目を一括入力した場合の、当該複数の入力項目の入力種別のならびを、前記供給元ユーザに選択せしめる複数の入力種別の表示と、その内の一つが選択可能である単一マター表示窓としての種別選択表示窓Tが前記入力操作部13、25のマウスの操作により、▼にマウスポインタUを位置移動してクリックすることにより、出現するように前記サーバ7の前記案内プログラムを含む前記制御部により制御するようにしている。

【0078】

さらに、図8に示すように、種別選択表示窓Uには、各々が単一のマターである各入力項目B、C、D、E、F、G、H、J、Kが一覧表示され、この一覧表示される複数の入力項目から前記マウスポインタUを移動させ、一つの入力種別を選択するように前記案内プログラムを含む前記制御部がWEB端末4を通じて促すようにしている。

【 0 0 7 9 】

入力種別の選択は、図 8 に示すように、マウスポインタ U が位置する入力項目が順次網掛け表示され、マウスポインタ U が何を指定しているかが W E B 端末 4 の表示部によって視認できるようになっている。

【 0 0 8 0 】

そして、例えば、図 8 のハッチングの位置に一つの「ある半導体部品」 A の在庫情報として、前記「複数の入力項目に係る入力項目情報をペースト操作により一括入力」した複数の入力項目の群を列状に貼り付けた後、前記入力項目の一つ一つについて、前記マウスポインタ U により、その貼り付けた入力項目が何に関する単一のマターであるのかの入力種別を W E B 端末 4 の入力操作部 1 3, 2 5 により選択する。

【 0 0 8 1 】

また、前記「複数の入力項目に係る入力項目情報をペースト操作により一括入力」した複数の入力項目の群の各入力項目ごとの仕切りは、図 7 の W E B ページとしての入力表示画面に示すような、「仕切り記号の入力を促す」表示 V によって、前記 W E B 端末 4 の入力操作部 1 3, 2 5 により仕切り記号が入力されると、この入力に基づいて前記制御部が各単位入力項目ごとに分離認識するとともに、上述した入力種別と関係させた情報としてデータベース 3 4 に前記供給先ユーザの W E B 端末 4 を介した検索によって適宜で在庫情報を抽出できるようになる。つまり、図 5 に示すように、前記複数の入力項目の入力を行ない、図 7, 8 の送信ボタン P をクリックすると、サーバ 7 の前記制御部の制御により在庫情報データベースの更新処理を行なう。

【 0 0 8 2 】

そして、当該更新処理後の在庫情報データベース内の複数の前記供給元ユーザからの在庫情報に基づいて、供給先ユーザが所有する W E B 端末 4 を操作して所望の半導体部品の検索を行ない、その検索結果をサーバ 7 の前記制御部が生成し、所定のフォーマットで生成された検索結果を前記供給先ユーザが所有する W E B 端末 4 の表示部 1 4, 2 4 に表示させる表示情報を送信する。

【 0 0 8 3 】

その後、供給元ユーザと供給先ユーザとの間で、発注書又は見積依頼書の送受信又は郵送が行なわれ、最終的に商取引が成立させ得ることが可能となるものである。

【 0 0 8 4 】

なお、この実施の形態では、ペースト作業により複数の入力項目の一括入力可能な図 7 の入力画面と、手入力により入力を行なう従来型の図 8 の入力画面との 2 つを、複数の入力項目を入力すべき WEB ページとして採用しているから、在庫登録したい供給元ユーザの都合により入力方式を選択して入力することが可能となる。

【 0 0 8 5 】

図 9 は、前述した図 5 ～図 8 における在庫情報の電子情報の入力を行なう場合のサーバ 7 内の処理の流れを示すフロー図である。図 5 の説明と若干重複する部分も存在するが、このフロー図に沿って以下サーバ 7 内での詳細な処理の流れについて説明する。

【 0 0 8 6 】

まず、サーバ 7 は、WEB 端末 4 によりユーザのアクセスを受信すべく待機している（ステップ S 1）。

【 0 0 8 7 】

次に、WEB 端末 4 からのアクセスがあるかどうかを判定する（ステップ S 2）。

【 0 0 8 8 】

接続が確認されると、真性なユーザからのアクセスであるか同かを認証するための認証入力画面を前記アクセスのあった WEB 端末 4 に送信して、ユーザごとに設定された ID コードとパスワードとの入力を促す（ステップ S 3）。

【 0 0 8 9 】

WEB 端末 4 側では、受信した前記認証入力画面に基づいてサーバ 7 から与えられた ID コードとパスワードとを入力操作部 1 3，2 5 を使用して入力して、サーバ 7 に送信する（ステップ S 4）。

【 0 0 9 0 】

受信したIDコード及びパスワードと、予めメモリ32に記憶されたIDコード及びパスワードとの認証比較データとをサーバ7の制御部が比較認証処理を行なう（ステップS5）。

【0091】

認証の結果、不正使用と判断されれば、回線を切断する（ステップS6）。

【0092】

認証の結果、真性なユーザからのアクセスであるとサーバ7の前記制御部が判定した場合には、そのサーバ7で受けられる全てのサービスを表示し、その表示された複数のサービスをユーザの意思によって選択することが可能となる初期画面を前記WEB端末に送信する（ステップS7）。

【0093】

前記サービスとは、図6に示すジャンプ項目から明らかなように、「会員登録」「在庫検索」「在庫登録」やその他のサービスが提供可能であるが、この実施の形態では、「在庫登録」が選択された場合について以下に説明し、その他のサービスについてのこれ以上の説明を省略する。

【0094】

初期画面からサーバ7の制御部が「在庫登録」のサービスがWEB端末4を介してユーザが選択したと判定すると、上記図6及び図7の在庫情報に係るWEB端末4の入力操作部13、25により入力可能なWEBページとしての入力項目表示画面を表示するための電子情報を、WEB端末4に送信する（ステップS9）。

【0095】

送信された前記入力項目表示画面を表示部14、24に表示させて視認しながら、この実施の形態では、前記エクセル（表計算ソフトの製品名）を立ち上げ、予めエクセル電子情報として記憶している在庫情報を別のウィンドウで表示させ、このWEBページに掲載する在庫情報のエクセルデータをテキスト形式に変換したのち、コピー又はカットアンドペーストによって、前記入力表示画面の前記単一の入力領域に直列状に貼り付けることを促す。更に、前記在庫情報の複数の入力項目間の仕切り記号がスペースなのか、カンマなのか或いは他の記号なのか

を、同じく入力操作部 1 3, 2 5 により入力することを促す。そして、前記在庫情報の複数の入力項目の各々の入力種別を種別選択表示窓 T に表示される複数の入力種別から各々選択入力することを促す。以上の促す行為は、前記案内プログラムを含むサーバ 7 の制御部が担う。

【 0 0 9 6 】

入力が完了して、前記入力項目表示画面をサーバ 7 に対して送信すると、この送信された情報が適正な受信であるかを判定する。適正な受信であるかを判定するとは、受信した入力項目に不足があったりする不備でないかどうかと、送信されたデータがサーバ 7 側でデータベースとして編集可能なテキスト形式等の所定の形式であるかどうかを判定することである（ステップ S 1 0）。

【 0 0 9 7 】

判定の結果不備がないと判定された場合には、サーバ 7 の前記制御部が在庫情報として予め構築している在庫情報データベース 3 4 と整合性がとれるようなフォーマットに変換処理を行なう。つまり、貼り付けによって入力領域 S に入力されるから、貼り付けられた前記供給元ユーザの都合で生成されている在庫情報の入力項目の入力順序が他のユーザと異なっている可能性があるため、入力された情報は、同様に入力された区切り記号表示 V への入力記号に基づいて、単一の入力項目ごとに分離認識され、且つ、入力種別認識が行なわれ、最終的に、全てのユーザの入力形態（フォーム）が同じになるように変換処理する。

【 0 0 9 8 】

なお、マイクロソフト社のエクセルなどのデータベースソフトなどには、データコンバータにより他の関連するソフトに対して、上述した区切り文字を指定し自動的にデータコンバータする機能を有するが、これと同様の方式によって自動的にデータコンバータすることもできる（ステップ S 1 1）。

【 0 0 9 9 】

以上のようにして、在庫情報の登録に係る作業フローが終了する。

【 0 1 0 0 】

【発明の効果】

以上説明したこの発明によれば、予めユーザが用意したデータを利用して貼り

付け作業により端末からサーバ内へのデータ入力が行なえるから、従来のように前記端末側からのデータ入力に比べて格段に作業効率が向上する。

【 0 1 0 1 】

また、複数の入力項目（単一のマター）を貼り付け入力するに当たり、予め用意した入力項目のデータの並びがユーザごとに異なるものであっても、貼り付けを行なったユーザに対して入力項目の種別（単一のマター）を選択させるようにしているから、例えば、後のデータベース化が行ない易くなるといった利点がある。

【図面の簡単な説明】

【図 1】 本発明に係る通信回線網の構成を示す概略図である。

【図 2】 本発明に係る W E B 端末としての携帯端末の構成を示すブロック図である。

【図 3】 本発明に係る W E B 端末としてのパーソナルコンピュータの構成を示すブロック図である。

【図 4】 本発明に係るサーバの構成を示すブロック図である。

【図 5】 本発明に係る商取引形態を示す概略説明図である。

【図 6】 本発明に係る W E B ページを示す説明図である。

【図 7】 本発明に係る W E B ページを示す説明図である。

【図 8】 図 7 を部分的に拡大表示した説明図である。

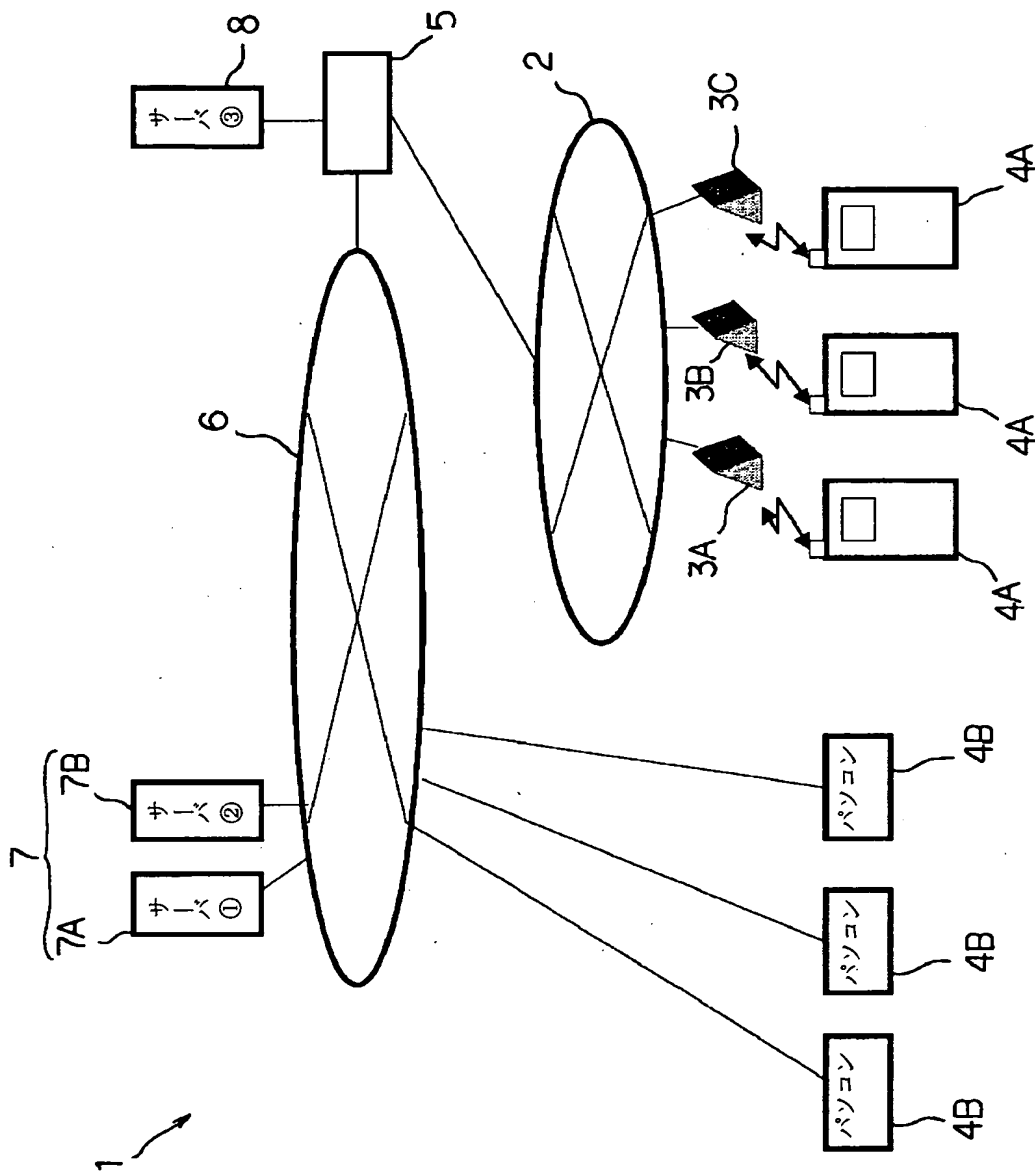
【図 9】 本発明に係る在庫情報登録の流れを示すフロー図である。

【符号の説明】

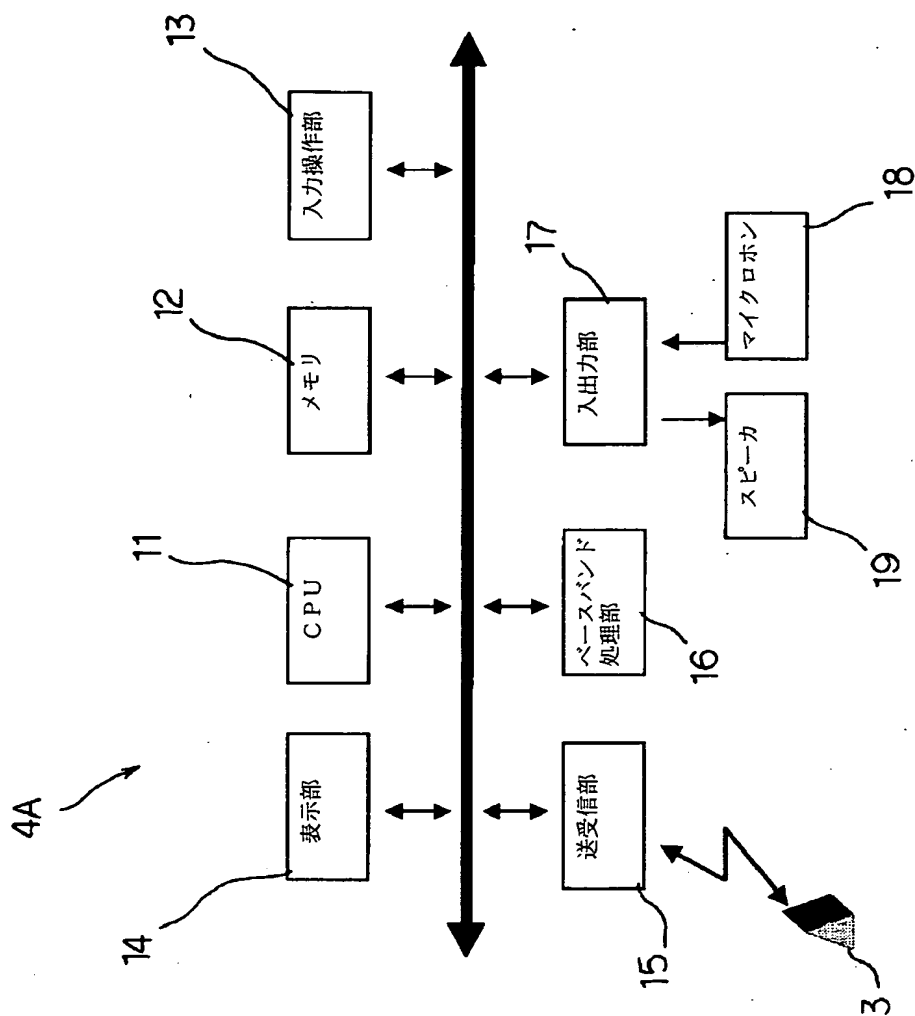
- 4 (4 A, 4 B) . . . W E B 端末、
- 6 . . . インターネット網
- 7, 8 . . . サーバ、
- B, C, D, E, F, G, H, J, K . . . 入力項目
- T . . . 種別選択表示窓（単一マター表示窓）
- S . . . 入力領域、
- V . . . 「仕切り記号の入力を促す」表示

【書類名】 図面

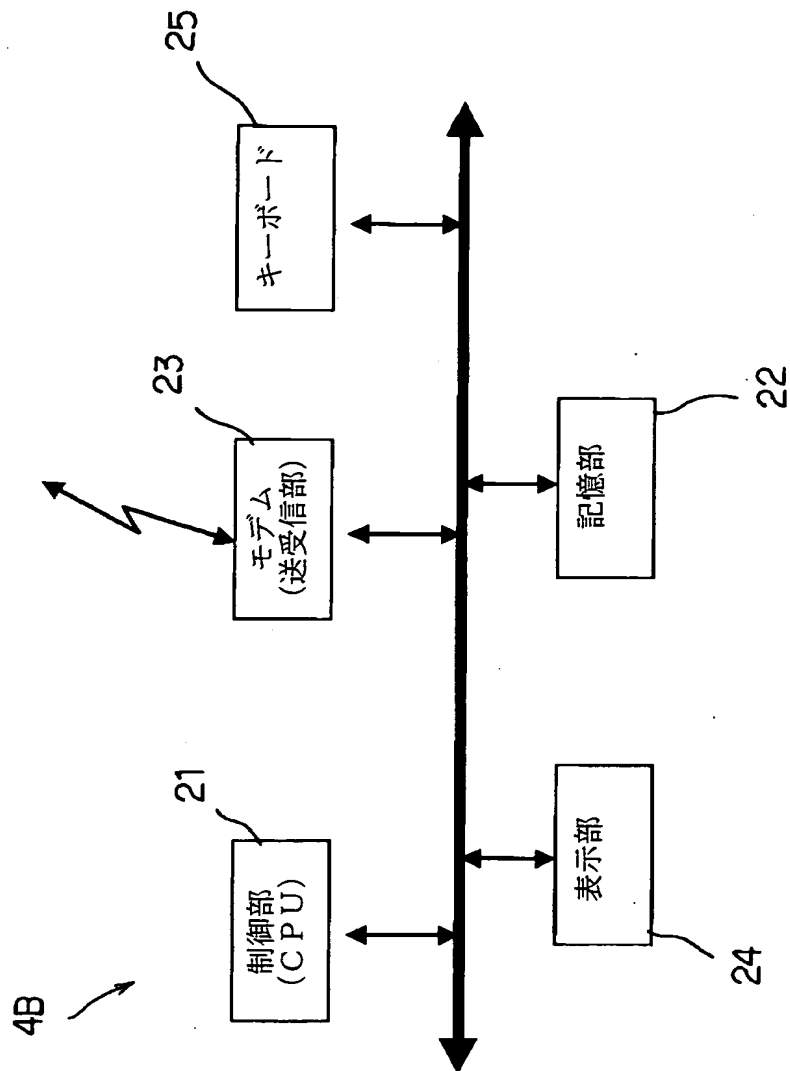
【図 1】



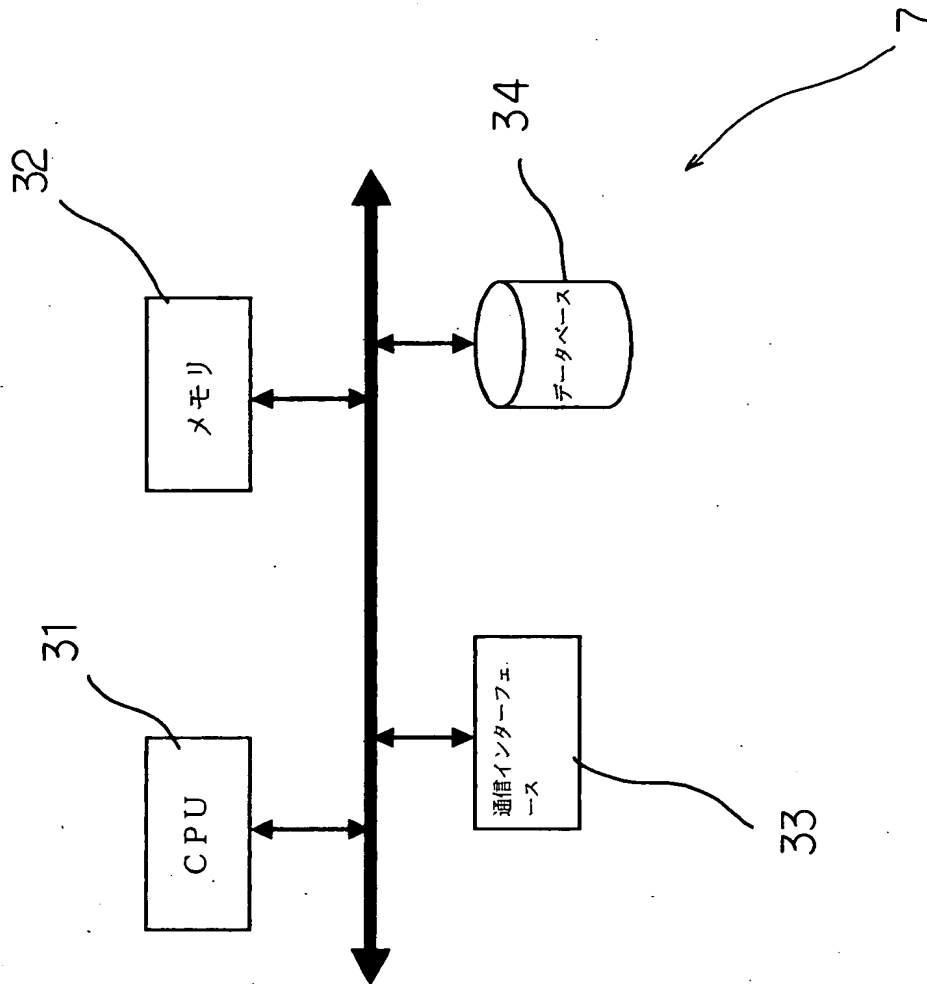
【図 2】



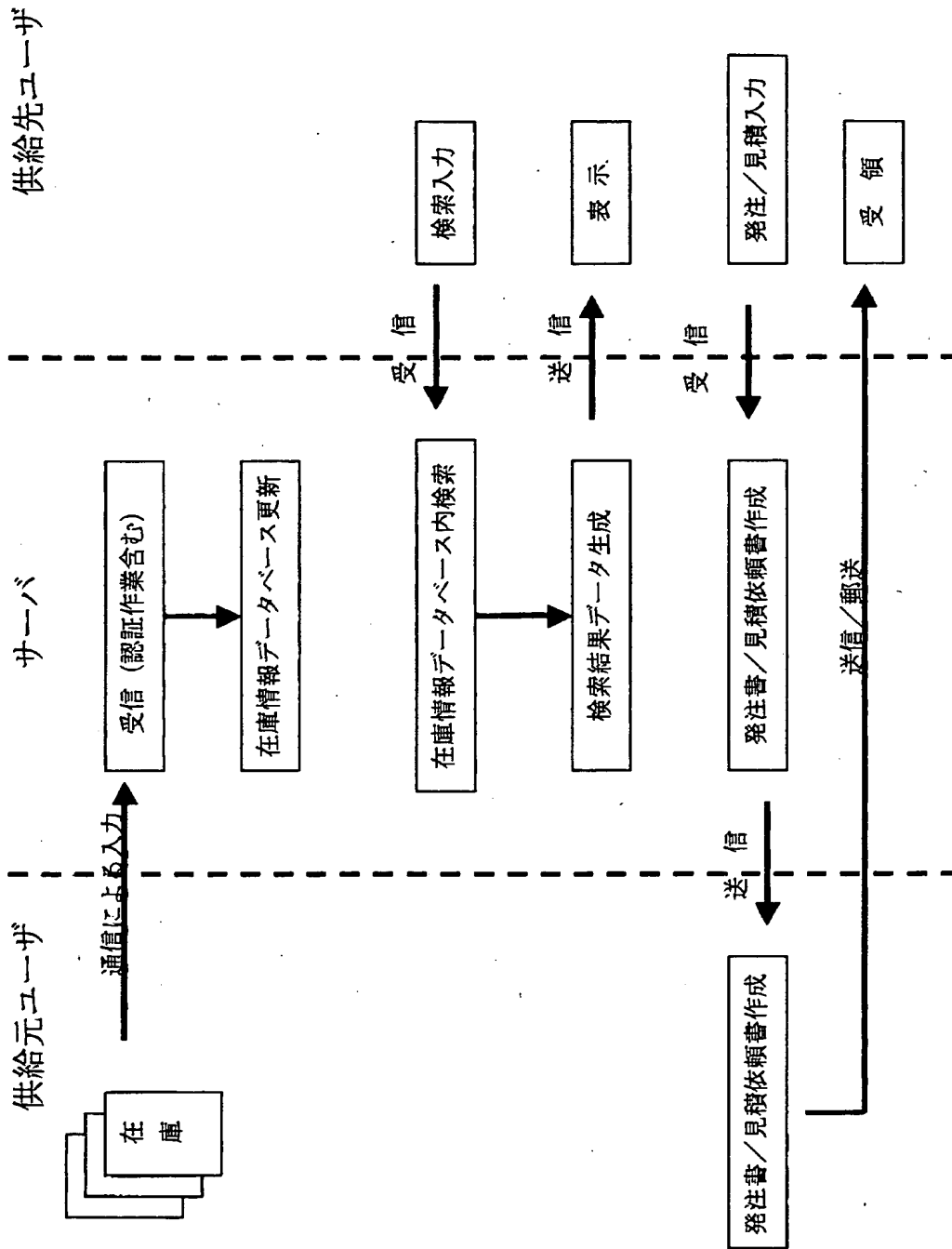
【図 3】



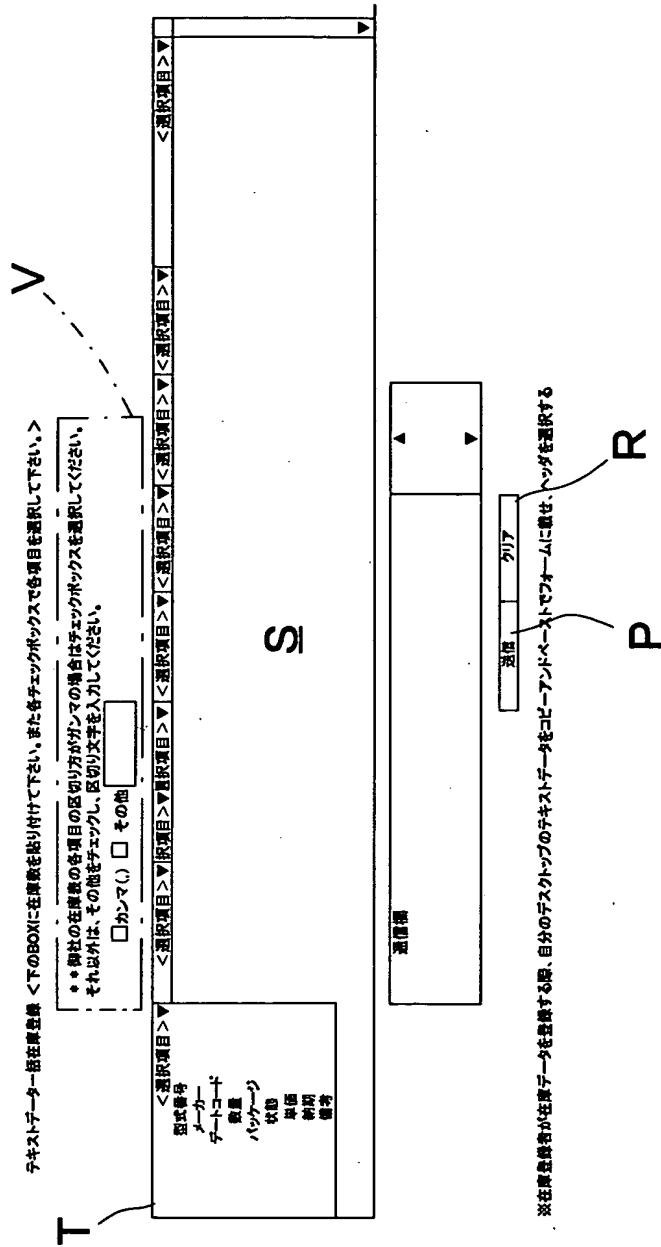
【図4】



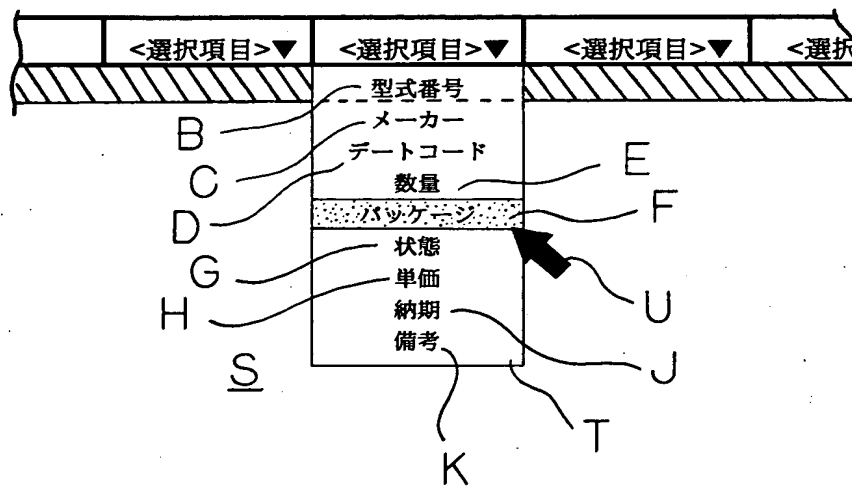
【図 5】



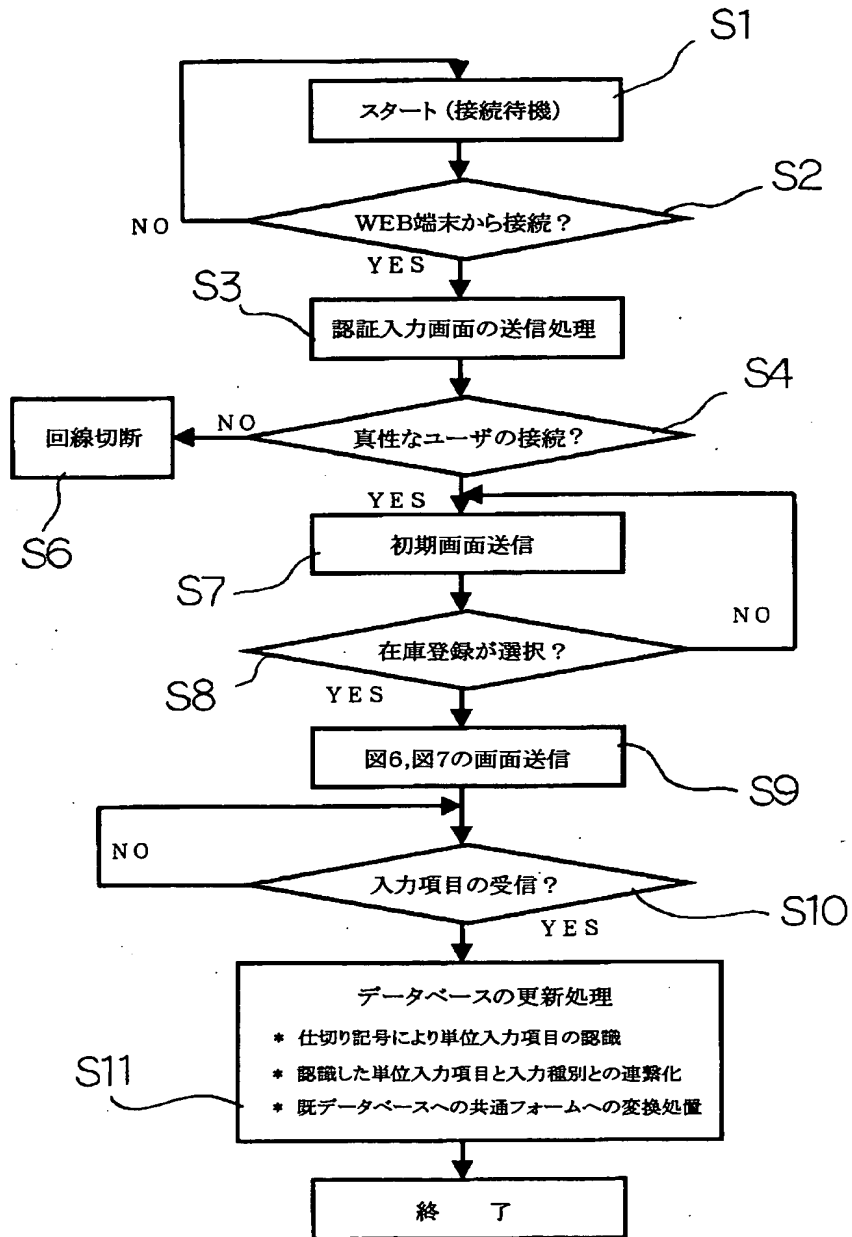
【図 7】



【図 8】



【図9】



【書類名】 要約書

【要約】

【課題】 端末側において、めいめい異なる形式で記憶された電子情報を使って、端末からサーバへ電子情報を簡単に入力することを可能にする。

【解決手段】 複数の端末に接続され、当該複数の端末との間で送受信を行うサーバであって、単一のマターを表示する単一項目表示が複数個集合したものからなる複数項目表示を貼付ける貼付け領域と、この貼付け領域に貼付けられた複数項目表示に対して、当該複数項目表示に含まれている各単一項目表示に対応する単一のマターを選択して確定表示させ得る単一マター表示窓と、を前記端末の表示部に表示させることを特徴とする。

【選択図】 図 7

出 願 人 履 歴 情 報

識別番号 [501223364]

1. 変更年月日	2001年 6月 4日
[変更理由]	新規登録
住 所	東京都豊島区南池袋3丁目13番7号
氏 名	藤倉 和実